



# 梅花霜雪 Vol.4

近畿大学九州工学部同窓会ニュース

2001年5月1日

近畿大学九州工学部同窓会発行

〒820-8555 飯塚市柏の森11-6 近畿大学九州工学部内  
TEL 0948-22-5655 FAX 0948-23-0536  
<http://www.fuk.kindai.ac.jp/>  
Mail: dousou@fuk.kindai.ac.jp

## 平成12年度近畿大学九州工学部・九州短期大学合同同窓会

同窓生の皆様、その後如何お過ごしでしょうか。皆様にあってはますますの御繁栄のことと相じます。

昨年、平成12年度近畿大学九州工学部九州短期大学合同同窓会が開催されました。今回は20世紀最後の年と言うこともあり、来賓初め校友会の皆様並びに卒業生の皆様が例年以上に多く参加いただき心より感謝した次第です。又、母校に対する思いが確固たるものであることを感じ、改めて恐縮した次第です。さて、この年度より実行委員会が当番制ということで、1回生、2回生、3回生で役員組織を形成し運営する事になりました。最初ははたして我々のような年寄にこの大役が出来るか半信半疑でした。しかし同窓会役員のご支援、又、実行委員の若い人達の協力、更に同窓生の皆様からの力強い励ましの連絡をいただき、何とか開催することが出来ました。本当にありがとうございました。さて、開催日を迎えた会場に立って最初に驚いたことは予想以上の参加者を目にしたことでした。感激と興奮でいっぱいでした。懇親会に入り卒業以来会っていない同期生と再会し、懐かしい話で盛り上がりました。又、アトラクションは我々の青春時代を思い出させてくれたのがベンチャーズやビートルズの曲でした。つい踊りだして実行委員であることも忘れ感激に浸った次第です。私は今回実行委員長という大役をさせていただいたことを心から良

平成12年度近畿大学九州工学部  
九州短期大学 合同同窓会



かったと思っています。このような気持ちになり、同窓会を大成功に終わらせることが出来たのも同窓会実行委員会の皆様の御協力の賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。

最後に13年度同窓会の皆様にあっては開催までに大変な御苦労が有ると思いますが、皆様の活躍により立派な同窓会となることを期待しております。

平成12年度同窓会実行委員会  
委員長 澤田 秀隆 (S45年建築卒)



## 九州工学部同窓会会長 役員改選後の挨拶

平成12年度は、同窓会役員の改選の時期にあたり、総会において、全役員留任となり、21世紀に向けて心新たにして、同窓会発展のため、努力することを役員同士かたく約束致しました。

同窓会懇親会には、前嶋名誉顧問はじめ、新校友会長の亀岡弘氏もご臨席賜り、我々の同窓会活動を大変高く評価していただき、激励の言葉をかけていただきました。また実行委員会を当番制にして、最初の同窓会でしたが当番回期の方々が大いに張り切り、頑張っていただいたおかげで、大変に盛り上がり、久しぶりの再会に感激され、話題が絶えないほど会場は熱気に包まれていました。当番回期の方々の終わった後のすがすがしい顔が印象に残っております。

同窓会のあるべき姿をかいだ見る思いで感謝と感激でいっぱいになりました。

平成13年は、21世紀幕開けの年であり、技術創世紀と言われ、世の中は情報技術の加速化により、企業経営や、生活環境は大きく変わりつつあります。

母校九州工学部も敷地内に分子工学研究所の施設が3月に完成し、また、附属福岡高等学校も最新の技術を駆使した斬新なRC造5階建ての管理、教室棟や2階建ての体育館が建設中です。時代が大きな変革期を迎えようとしているのを感じることができます。



会長 坂口 高昭(S48年建築卒)

時代は新しい世紀を迎え、一つの時代の節目に今一度同窓会の素晴らしさを私なりに見つめ直してみたいと思います。

時代の変革期の中で母校を取り巻く環境も自然の風景も変わりつつありますが、私たちの心に刻まれている懐かしい思い出の数々は、今も私たちの心の中に生き続けています。たとえ、学んだ時代は違っても同じ学校で学んだという不思議な因縁は見知らぬ者同士を妙に身近な存在として結びつけてしまう魔力を秘めているようです。先輩も後輩も童心にかえって語り合い、同じ思い出を持つ者同士で、明日への希望を確かめ合い、懐かしい先生方の思い出にひたることは、同窓会の素晴らしいところだと思います。

役員は、愛する母校のため自然な気持ちで奉仕しております。ただ少数で努力するよりも、多くの方々のご参加があれば、さらに喜びが大きくなるわけでございます。

年に一度の同窓会を楽しく価値あるものにしたいと願っております。同窓みなさまの御援助、御協力をよろしくお願ひ致します。

## 九州工学部同窓会副会長 役員改選後の挨拶

新世紀 21世紀が始まった。

同窓生も10,000名を越え、同窓会活動をご報告出来る機会はこの同窓会誌の他、九州工学部同窓会総会のご案内と限られているところです。

昨年九州工学部同窓会東京支部を作ろうという動きがではじめた事を知り、このような活動の輪が広がっていけば、会

| 名誉顧問          | 会長              |
|---------------|-----------------|
| 前嶋 俊壽         | 坂口 高昭(S48年建築)   |
| 名譽会長          | 副会長             |
| 菊川 清          | 一尾 泰嗣(S48年電気)   |
| 相談役           | 福田 茂幸(S48年電気)   |
| 未吉 桓寧(S46年建築) | 大島 敏秋(S48年建築)   |
| 日下部親男(S47年電気) | 藤本 繁喜(S59年二部建築) |
| 樋口 秀隆(S48年建築) |                 |

## 副会長 藤本繁喜(S59年建築2部卒)

員の親睦と互助が深まり、母校の発展に寄与するものと信じ、副会長2期目の志として基盤整備が出来ないものかと思料している次第です。

また、一人では何も出来ません。みなさんの知恵と協力が必要です。

| 幹事長           |
|---------------|
| 長谷川保久(S49年工化) |
| 事務局長          |
| 浦川 保(S45年工化)  |
| 会計            |
| 津野 雅之(S55年建築) |
| 川村 正美(S47年電気) |

| 監査            |
|---------------|
| 田嶋日出文(S55年工化) |
| 林 美江(S63年建築)  |

## 平成13年度合同同窓会のご案内 – 6月23日(土) 寿会館

### 21世紀の同窓会一新たな歩み

21世紀は混迷の内に明けました。

この混迷を前に、私達の今後の同窓会活動における新世紀へと臨む心情は、「分け入って行く」という表現が似つかわしい、そんな気がします。

同窓会の本旨は「懇親の喜び」と「互助」そして、この二つの(元)に位置付けられる「母校の発展」でしょう。この三つの要素の具現については、何よりも活動を担っているメンバーの各々が、本当に楽しみながら取り組む、というスタンスが肝要だと思います。

昨年の世紀末から新世紀へとバトンされた同窓会総会の実行活動は、当番期制に変えたことによって「楽しみながら」という効用が、より味わい易く成っているのです。

今年の当番は、工学部は昭和48年卒の第四期生、短大は第15期生が受け持ちはます。支えてくれる他の多くの同窓委員と共に、実り多い「総会 懇親会」を実現したいと心構えています。そのためには、同窓生の皆様の多数のご出席とご支援が何よりも必要です。

なお、今年の開催要領は最終ページにご案内しておりますが、会場は、料理など好評だった寿会館にもう一度お願ひすることになりました。そのほかアトラクションにも工夫をし、「手作り同窓会」の良さを存分に味わって頂けるよう尽力い



たしております。ご多忙とは存じますが、お誘い合わせのうえご参加をいただきますよう、心からお願ひ申し上げここにご案内申しあげます。

平成13年度合同同窓会実行委員長  
樋口秀隆(S48年建築卒)

## ファミリークリエーション

毎年11月頃に行っておりますファミリークリエーション、役員・幹事の方々の日頃の慰労をかねて近隣にお住まいの同窓生の方々に「家族・友人・知人も気軽に参加できる催し」としてご案内させていただき、今回で9回目となりました。今回は奥様と参加されました副会長の福田さん（S48年電気卒）に寄稿して頂きました。

なお、参加希望の方で案内状が届かないという方は是非事務局までご一報下さい。

日時： 平成12年12月3日（日）  
参加費： 大人（中学生以上） 3,000円  
子供（小学生） 1,500円  
参加人数定員： 40名（先着順）  
内容： 嬉野お茶ちゃ村工場見学  
昼食： 佐賀牛と秋の味覚食べ放題  
佐賀県立宇宙科学館見学

今年のファミリークリエーションは平成12年12月3日、佐賀県の嬉野温泉に佐賀牛と秋の味覚食べ放題という企画で行ってきました。今年も計画は後輩の瀬戸君（JTB）に全部お願いして案を考えてもらいました。参加者は、大人37名、子供6名、幼児3名の計46名で観光バスにガイド付きといった今までとはちょっと違った豪華版で出発。しかし出発するや否や、例のごとくピールにつまみの大乱舞。すっかりバスの中で出来上がってしまいました（特に坂口会長）。そうこうしているうちに、まず最初の見学場所、嬉野お茶ちゃ村工場に到着。沢山のお土産を買ってバスの方に戻ってくると、古野君が子供のソフトクリームを取りあげて食べていました。ほのぼのとして、とてもいい光景でした。さて、今度は今日の昼食地、和多屋別荘に向けて出発。ものの4、5分もすると到着。温泉に入るのを後にさっそく昼食会場に案内していました。バイキング形式で



色んなものが用意され、とても満足いくものでした。食後、慌しく温泉に入り、第3の目的地、佐賀県宇宙科学館に向かいました。とてもユニークな建物で多くの観光客で駐車場も観光バスでいっぱいでした。私達は科学館内のプラネタリウムに行くことにしました。プラネタリウムは皆さんご存知のごとく、内部は星空で暗くなり、椅子はリクライニングでとてもリラックスした気持ちにさせてくれました。中にはとてもリラックスしすぎて女性の解説者の声が聞こえなくなるほどのイビキでくつろいでいた人がちらほら（またまた坂口会長の出番。どんな夢を見ていたのでしょうか）、でも正直言って疲れました。今度別の方が担当になると思いますが、川下りなんかもいいですね。オワリ。

福田茂幸（S48電気卒）



## チャリティ活動—チャリティゴルフコンペ

同伴者に恵まれ栄えある1位となり、このチャリティーゴルフコンペの記事を書くことになりました。

平成12年9月14日(木)JR内野カントリークラブにおいて、九州工学部卒業生と教職員総計23名の参加をえて10時34分スタートしました。

このチャリティコンペは九州工学部同窓会の行事として毎年実施され、私も毎年参加しています。コンペでは、卒業後初めて参加する卒業生もいて大変なつかしい顔ぶれに接し、珍プレーなどもあり、楽しい一時を過ごさせていただきました。日頃各自責任のある立場に就かれている卒業生が学生時代に一時でも戻り親睦を深められたことは、今後の同窓会活動が今以上に活性化するものと期待いたしております。当日集められた募金については、後日同窓会幹事会等で寄付先を決めると聞いております。

最後になりますが今後の同窓会の更なる発展を願いました、来年のチャリティーゴルフコンペの案内状が届くのを心待ちにして報告とします。

九州工学部 事務長 西 繁美

| 順位 | 氏 名   | TOTAL | HCP  | NET  |
|----|-------|-------|------|------|
| 1  | 西 繁美  | 89    | 16.8 | 72.2 |
| 2  | 江藤秀之  | 87    | 14.4 | 72.6 |
| 3  | 金子士   | 91    | 18.0 | 73.0 |
| 4  | 長谷川保久 | 83    | 9.6  | 73.4 |
| 5  | 荒川剛   | 81    | 7.2  | 73.8 |
| 6  | 青柳秀樹  | 94    | 19.2 | 74.8 |
| 7  | 飯盛榮二  | 100   | 25.2 | 74.8 |
| 8  | 上田光明  | 86    | 10.8 | 75.2 |
| 9  | 渡邊日出男 | 96    | 20.4 | 75.6 |
| 10 | 奥山芳鹿  | 90    | 13.2 | 76.8 |

# 就職セミナー

同窓会主催 就職対策ガイダンス特別講演

## 白熱の講演開催!

平成12年10月23日(月)午後4時20分より、本学講師 青木伸雄先生による、講演「企業の求める人材とは」が本館、1151講義室において、同窓会主催で開催、同窓会幹事川村氏による開会の辞に始まり、意欲に溢れた3年生の男女の学生他同窓生参加、300人収容の会場が満杯の状況の中、白熱の講演が行われました。

企業はどの様な人材を求めているのか、どの様な学生であらねばならないか、で始まり、学生生活4年間の努力の跡、雇用情勢、社会の変化、日本、世界の変動、動きを読みとり柔軟性ある応用能力を身につけることの肝要さ、三方良しとなる貢献出来る人材であれ、掛け替えのない歯車であれ、女子学生へは結婚しても止めないで欲しいと言われる人になりなさい、等々、思わず引き込まれ、青木伸雄先生の熱意がガンガン心に撃ち込まれて行き、又、皆にはチャンスがある、入りたい会社の会社人間になれ、経営の5原則、教育基本法第55条、創造性ある思考力、無分別的思考を身に付けよ、眉毛横眼上、人間は小さい、偉い、生年不満百常懷千歳憂、大疑則大進、人間の根底、品格品性の涵養、社会生活を営む心得、德育の必要性、佐藤一斎先生の言志四録、無財の七施、年老いた両親に安心を与える、人間のあるべき姿勢、心外無法、等々と先生の気迫のこもったお話、裂帛の言葉、一語一語が聞く人の胸を打つ、沸き立つ感動、学生の教育から地球を取り巻く情勢、人間の根底、人道主義に基づく仏教の教えと多岐に亘る、先生の心の底から泉の如く沸き出るお話が続けられ、学生諸君のみでなく、人生の先輩である一般諸氏にとりましても非常に教えられることばかりの感動溢れる講演で、窗外は雨が降りうら寂しいのに引き替え、会場内は先生の圧倒的言葉で熱気ム



ンムン、与えられている時間があつという間に終わりました、素晴らしい講演でした。

終わりにあたり坂口同窓会会长のお礼の言葉があり、大盛況の内に終了いたしました。

関 秀樹 (S48年建築卒)

## クラブ表彰－空手道部



### 健闘した！空手道部

近畿大学九州工学部同窓会主催のクラブ表彰が平成12年10月29日(日)、若者の祭典、柏の森祭開催の中、学園校庭内特設ステージにおいて、同窓生及び空手道部全員参加のもと、爽やかな秋日和の中、同窓会常任幹事の井手克行氏(S49年建築2部卒)より、健闘を讃えた言葉と表彰状や記念品が空手道部主将小林義樹君へ、大勢の聴衆の暖かい拍手のなか手渡されました。

戦績は第38回西日本大学空手道部選手権大会(平成12年5月21日大阪市近畿大学体育館に於いて開催)ベスト16位、

第47回北九州・下関地区大学体育大会(平成12年6月11日九州国際大学体育館に於いて開催)個人戦2位、団体戦3位、平成12年度陽明会全国大会(平成12年8月16日大和高田市総合体育館に於いて開催)個人組手2位という結果でした。

今後の近畿大学九州工学部のクラブ諸君の益々の健闘を祈ります。

関 秀樹 (S48年建築卒)

### サークル一覧

#### ■五団体■

学友会執行部  
学術文化会総務  
学生健保共済会

体育会総務  
柏の森祭実行委員会

#### ■体育会系サークル■

準硬式野球部 バスケットボール部  
硬式テニス部 アーチェリー部  
剣道部 アイスホッケー部  
陸上競技部 水泳愛好会  
柔道部 バドミントン部  
弓道部 ゴルフ愛好会  
空手道部 卓球同好会  
サッカー部 ハンドボール愛好会  
ラグビー部 バレーボール愛好会  
ボディビル部 ワンダーフォーゲル愛好会

#### ■学術文化会系サークル■

フォークソング部 吹奏楽部  
工業化学研究会 写真部  
陶器研究会 美術部  
アマチュア無線部 釣り研究会  
映像文化研究会 歴史研究会  
手芸同好会 M.S.S.C  
H.A.C 研究会  
ユースホステル同好会

# 九州工学部内建設状況 分子工学研究所完成



## 新学部長就任 菊川先生 よろしくお願いします

同窓生の皆様、お元気でご活躍のことと思います。昭和45年九州工学部は220名の1期生を送り出しましたが、本年462名の32期生を加えて、遂に卒業生は1万人を超えるました。皆様が培ってきた九州工学部の伝統に華を添えることができたものと喜んでいます。

昨年ドイツヘンケル社の協力で九州工学部に設置されました「近畿大学分子工学研究所」の研究棟も竣工し、5月18日には著名な研究者を迎えて講演会も企画されています。

21世紀最初の入学式では昨年を140名も上回る575名の新入生を迎え、キャンパスは華やいだ空気に包まれています。大学氷河時代、地方の各大学が苦戦する中、九州工学部は出願者、入学者とも大幅に増加致しました。これは同窓生の皆様の常日頃からのご支援によるものと感謝致しております。また、常に未来にチャレンジする精神を原点に「実学の近大」と呼ばれる教育が「社会に役立つ大学生を育てている大学」

との評価を頂いた結果と自負しています。

変化の激しいグローバル化した21世紀社会では、現状維持は許されません。環境や情報といった21世紀の課題に応えるためには、理系だ文系だと従来の枠組みにとらわれていては生き残れません。九州工学部はこのような21世紀社会の要請に応えるため、文理を融合する学科の新設など、大胆な将来計画を策定中です。

人の人生は出会った人の数と中身で決まる！と言われています。損得抜きでつきあつた大学時代の友人は人生の宝です。しかし、年齢差のある先輩や後輩が集う同窓会活動もまた、中身の濃い出会いを作ることは間違ひありません。九州工学部は同窓会活動へ全面的な支援を惜しまないつもりです。母校を大いに利用して下さい。

同窓生の皆様のご健勝を祈り、同窓会活動の更なる発展を期待しています。

九州工学部学部長 菊川 清

### 志願者 前年度比15%増

平成13年度入試は、ここ数年の18歳人口の減少、長引く不況に伴う国立大学志向などから私立大学の多くは受験生集めに苦戦している中、本学部は207名（15%）増の志望者があり前年を大きく上回った。特に生物環境化学科（旧工業化学科）の伸びは著しく、キャンパス内に分子工学研究所の開設や学科名称変更に伴うイメージチェンジによるものではないかと考えられる。今後は私立大学としての特色をいかに出せるかが、学部発展の重要な課題となってくる。

（九州工学部教務課）

### 平成13年度入試結果

| 学 科                | 志願者数      | 合格者数      | 入学者数     | 競争率        |
|--------------------|-----------|-----------|----------|------------|
| 生物環境化学科            | 450       | 315       | 133      | 1.4        |
| 電気情報工学科            | 387       | 297       | 127      | 1.3        |
| 建築学科               | 380       | 205       | 136      | 1.9        |
| 産業デザイン学科           | 175       | 149       | 80       | 1.2        |
| 経営情報学科（経営）<br>(情報) | 80<br>135 | 72<br>118 | 32<br>73 | 1.1<br>1.1 |
| 合 計                | 1,607     | 1,156     | 577      | 1.4        |

| 産業技術研究科（前期） | 志願者数 | 合格者数 | 入学者数 | 競争率 |
|-------------|------|------|------|-----|
| 物質工学専攻      | 18   | 18   | 18   | 1.0 |
| 電子情報工学専攻    | 10   | 10   | 9    | 1.0 |
| 造形学専攻       | 5    | 5    | 5    | 1.0 |
| 経営工学専攻      | 12   | 12   | 11   | 1.0 |
| 合 計         | 45   | 45   | 43   | 1.0 |

| 産業技術研究科（後期） | 志願者数 | 合格者数 | 入学者数 | 競争率 |
|-------------|------|------|------|-----|
| 物質工学専攻      |      |      |      |     |
| 電子情報工学専攻    | 2    | 2    | 2    | 1.0 |
| 造形学専攻       |      |      |      |     |
| 経営工学専攻      | 1    | 1    | 1    | 1.0 |
| 合 計         | 3    | 3    | 3    | 1.0 |

## 平成12年度卒業式 (第32回3月14日)

### 九州工学部卒業者

| 学 科      | 卒業生数 |
|----------|------|
| 生物環境化学科  | 90   |
| 電気工学科    | 90   |
| 建築学科     | 97   |
| 産業デザイン学科 | 82   |
| 経営情報学科   | 103  |
| 合 計      | 462  |

### 大学院産業技術研究科修了者

| 専 攻      | 博士前期課程 | 博士後期課程 |
|----------|--------|--------|
| 物質工学専攻   | 9      | 1      |
| 電子情報工学専攻 | 6      | 1      |
| 造形学専攻    | 3      | 0      |
| 経営工学専攻   | 12     | 1      |
| 合 計      | 30     | 3      |

### 退職者

曾根 靖史先生(産業デザイン学科)  
新井 潔先生(経営情報学科)

